



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。
誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

秋風に、黄金の穂波が躍り輝き、爽気満ちる季節です。

「寒露」を迎え、秋涼にも次第次第に冬の気がきざし、
金木犀の香りが、秋の深まりを知らせてくれます。

皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

ご体調にはくれぐれもご留意の上、
この良き季節をお楽しみください。



<紙面から>

本部事業組織改正	……1ページ
敬老行事	……2ページ
つながりサポート個別サービス	……3ページ
お知らせ・リレーコラム	……4ページ

本部事業の組織改正

「後見係」から「権利擁護センター」へ

福祉公社は、昭和 56 年 4 月以来、有償在宅福祉サービスにより、在宅生活を送る高齢市民の皆様をトータルに支援して来ました。これについては、度々、この通信でお知らせしていますが、その担当部署が在宅サービス課の後見係です。

現在は介護保険の諸サービスを中心として、一人のご利用者に複数のサービスが重層的に提供されるようになり、後見係の役割分担・守備範囲もそれにつれて変化して来ました。

他方、超高齢・無縁社会の進行で、ご利用者の判断能力に不安がある場合や頼りとする親族がいない場合、社会的支援者として本人意思を代弁する権利擁護サービスが重要となっています。それが福祉サービス利用の大前提であるからです。

公社は市の成年後見推進機関と位置づけられ、唯一公的な財産管理サービスを提供して、多年にわたり権利擁護、成年後見のノウハウを蓄積してきました。

そこで 10 月 1 日から権利擁護を中核とし、その観点から市民生活を支援・保護することを更に明確にするために、従来在宅サービス課「後見係」を「権利擁護センター」と改めました。これにより、老いじたくや生活困窮者自立支援を含む市民の地域生活を、広く支援してまいります。

今後とも実践から培った実務能力を陶冶し、市民の皆様のお役に立ちたいと存じます。

宜しくお引き立ての程、お願い申し上げます。

* 権利擁護センター 連絡先 TEL 23-1165

恒例 成年後見相談会 開催

9 月 26 日、三鷹駅北口「かたらいの道市民スペース」にて、公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート東京支部と共催して、高齢者・障害者のための成年後見相談会を開催いたしました。これは毎年この時期恒例の相談会となっています。相談には後見係の社会福祉士とリーガルサポートの司法書士が共同して当り、それぞれの専門性を総合して事案の解決を導き出しています。今回の相談内容では、成年後見の利用と家族間の人間関係の調整が印象に残りました。今後も、後見係（権利擁護センター）は日頃の研鑽を怠らず、他の専門職とも連携してより良いサービス提供に努めます。

ご長寿を寿ぐ 敬老行事



高齢者総合センターデイサービスセンター 敬老会

9月21日の敬老の日は年に一回、特別に開所して敬老会を開催します。

当日は43名のご利用者、ご家族、ボランティアの皆様、出演者の方々と職員を合せ総勢82名が集い、ご利用者の長寿を寿ぎました。

最年長は娘さんとご一緒に参加された98歳のM様、母娘のお幸せな雰囲気が伝わってきました。M様は午後のお茶会の御正客として見事なお作法を披露して下さいました。余興は社会活動センターの自主グループ「アロハ・ピカケ・フラサークル」が素敵なフラダンスを披露してくれました。踊りも勿論、アロハのムードを盛り上げる衣装も



素晴らしく、その微笑みが魅力的でした。

恒例のバイオリン演奏や月曜ボランティアのコーラスもご利用者の長寿をお祝いする真心に満たされていました。

職員の出し物は「紅白歌合戦」。白組は舟木一夫に始まり、北島三郎、ト리는森繁久彌でした。対する紅組のトップバッターは李香蘭、島倉千代子に続き、美空ひばりでフィナーレです。歌って踊る司会は鳳蘭でした。職員が扮装した与作と上京したおっ母さんも登場して抱腹絶倒、場が盛り上がりました。皆様がお腹を抱えて笑ってくださったことが何よりのご褒美です。

参加者全員で楽しいひと時を過ごし、ご利用者の益々のご健勝を願いました。



北町高齢者センター 敬老のつどい

北町高齢者センターでは、9月17日・18日の二日間に亘り敬老のつどいを開催しました。例年多くのご利用者にご参加頂いていることから、サービスや安全面などを考慮して今年から二日制とし、76名をお迎えしました。余興をご披露下さったのは、近隣のボランティアの皆様です。



初日は武蔵野落語同好会のキョンキョンさんと小仙遊さんによる落語、ローザの会による美しい音色の邦楽演奏、二日目は塩之糍豊丸さんの交通安全・振り込め詐欺防止を主題にした毒舌漫談、ウクレレ合唱団「鈴懸」の闊達で親しみ深い演奏で皆様にお楽しみいただきました。

ご利用者は、ローザの会の演奏会で泣き出した赤ちゃんを背負うお母様を微笑みつつ応援し、鈴懸の演奏にはテンポよく唱和するなど、北町センターらしいアットホームな雰囲気の中、なごやかなひと時を過ごしました。

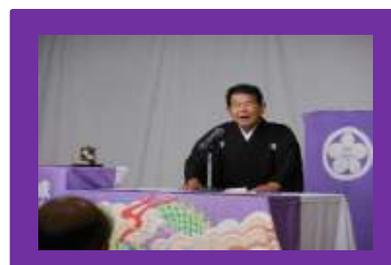
美味しいお祝い膳と笑顔で長寿のお祝いをすることができました。



高齢者総合センター 敬老の日 開館

例年通り敬老の日のプログラムとして、3階の囲碁将棋サロンの開場、東京都理容生活衛生同業組合多摩府中北支部武蔵野地区の皆様のご協力による無料散髪、東屋浦太郎一門による浪曲と演歌を楽しむ会を開催いたしました。

天候に恵まれたシルバーウィークの中日であったためか、例年に比べて少ない総計91名のご参加でした。



先月号で「つながりサポート事業」の概要をお伝えしましたが、権利擁護センターでは、同事業基本サービスのご利用者の方に下記の4種類の「個別サービス」を提供しています。

急な体調悪化や転倒等、思わぬ事態が発生した際に自宅に担当者が駆けつける「緊急支援サービス」や預託金をお預かりして、入院時の支払い業務を確実に「入院・入所支援サービス」があります。

本号では、特に人生の終わりを安心して迎えることをサポートする「没後支援サービス」をご紹介します。

4種類の個別サービス

※個別サービスのみのご利用はできません

ア 入院・入所支援サービス

入院保証金や入院・入所等の費用に充当する金額を預託金としてお預かりし支払い事務等でサポートします。

イ 緊急支援サービス

急な体調変化や自宅での転倒等思わぬ事態が発生した際、ご自宅や病院等へソーシャルワーカーが駆けつけ支援します。

ウ 随時訪問サービス

ソーシャルワーカーが定期訪問以外の日程でご自宅等を訪問し、必要な支援や日常生活の相談等に応じます。

エ 没後支援サービス

没後支援契約を締結し、契約内容に応じた預託金をお預かりすることで、火葬、家財道具の整理、行政機関への諸手続き等、没後マネジメントをトータルで行います。

没後支援サービスは、『葬儀に関すること』『没後のマネジメント』『家財道具等の整理』の3つのサービスで構成されています。没後支援契約を締結し、預託金をお預かりすることで権利擁護センターがご利用者の家族代わりとなり、支援します。権利擁護センターの特長は、まず第一にご利用者一人一人にソーシャルワーカー等の職員が専任で付き、その職員が最期まで責任を持って没後マネジメントを実施していく点です。

第二に預託金の管理についても確実安心です。出納時のチェックだけでなく、半年ごとに運営監視委員会の税理士、司法書士等の専門職委員により事前監査された後、同委員会で審議されます。

また、預託金は、清算型として必要額を支払った後、その残額は相続人等の権利者に引き渡す仕組みとなっています。

※ 預託金 「入院入所等サービス」「没後支援サービス」を利用するために、福祉公社の無利息の銀行口座でお預かりするものです。サービス毎に見積りを取り、金額を確定してお預かりいたします。

没後支援サービス

葬儀に関すること

預託金 ￥450,000より

ご利用者の家族の代わりとなり、最期まで責任を持ってサポートいたします。没後支援契約に基づき、葬儀を執り行います。預託金は、葬儀費用、事務手数料、寝台車等の料金を含んだ葬儀社からの見積りを事前に取り寄せたうえで、ご自身の納得のいく葬儀を打ち合わせし、お預かりいたします。納骨についてもご相談を承ります。

手続きに関すること

預託金 ￥355,000より

家賃や施設利用料、入院費の支払い等を行います。また行政官庁への諸届け、ライフラインの解約手続きだけでなく、必要に応じて相続に関する手続きも代行いたします。

家財道具や生活用品の整理について

預託金 ￥115,000より

ご利用者の家財道具や生活用品を会社が責任を持って整理いたします。ご自宅の大きさや家財道具の量によって費用は変わりますので、予め事業者を決めて、見積り、家財等を整理します。

会社からのお知らせ

尊厳ある老後をお考えの方に 老いじたく講座

誰にでも訪れる老いに備え、元気なうちから準備して
転ばぬ先の安心な老後生活を構築しましょう。

日 時 平成27年10月26日(月) 13時30分から15時

場 所 高齢者総合センター

内 容 成年後見について

問合せ・申込 権利擁護センター TEL23-1165

北町高齢者センター 調理アルバイト募集

おおむね60歳位までの方・資格不要(経験者歓迎)

週3日(曜日応相談)と土曜日(月1~2回)

時 給 950円 面接、簡単な調理の試技有り

問合せ TEL54-5300 (担当:上田)

家族介護支援教室 みどりの輪

介護離職を防ぐ!!

「仕事を あきらめない介護を 考えてみませんか」

日 時 平成27年10月31日(土)

10時から12時 (定員 50名)

場 所 高齢者総合センター 4階研修室

講 師 服部安子氏 (浴風会ケアスクール校長)

費 用 無料

問合せ・申込

在宅介護支援センター TEL 51-1974

* 都合により時間が変更になりました。
訂正し、お詫び申し上げます。



職員リレーコラム

第17回

《我が家のミルキー》

在宅介護支援センター

高山 雅子

私の実家には両親と猫のミルキーが住んでいます。ミルキーは、私が19歳の頃に我が家に来りました。母の友人にもらい、やってきた時には3歳でした。母の友人の家には数匹の猫がおり、ミルキーは気が弱く縄張り争いに負け居場所がない状態だったそうです。そんなミルキーも今は17歳の老猫になりました。2年前に腎不全になり、毎日点滴が必要になりました。若い頃に比べ小食で、寝ている時間が多くなりましたが、それなりに元気に生活しています。少しずつ色んなことが出来なくなることへの切なさもありますが、それが年齢を重ねることなのだと感じています。病気があっても1日1日元気であることに感謝しています。今、私は高齢者の支援に関わらせていただいています。年齢を重ねて出来ないことが増えても、病気を持っても、その人らしく生活できることを支援出来たらと思っています。

⇒ 次回は 在宅介護支援センター 江尻 陽一

ミルキー



編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成27年11月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分
業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>